

(5) コンクリート二次製品

ヒューム管

記事提供：全国ヒューム管協会北陸支部

新潟・富山、2県の出荷状況

令和6年度10月～12月期の出荷量は、新潟県は前年比200t減で900t、富山県は前年比300t減の600t、2県の出荷量合計は1,500tで前年同期比25%減となった。

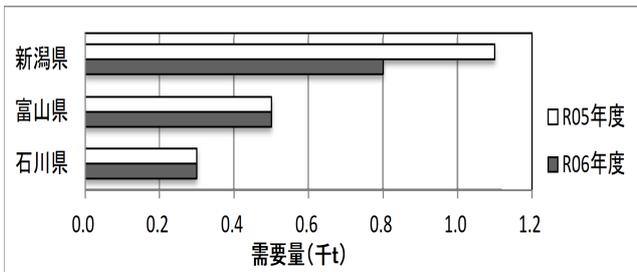
また、令和6年度累計では、新潟県は前年比500t減の2,000t、富山県は前年比1,000t減で1,900t、2県の累計出荷量合計は、3,900tで前年比28%減となった。

新潟・富山・石川、3県の需要動向

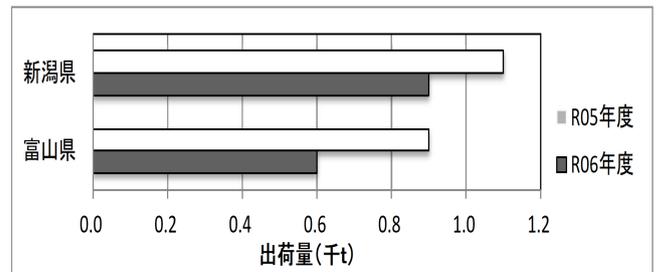
令和6年度10月～12月期の3県需要の合計は、1,600tで前年同期比16%減(300t減)となっている。県別では、新潟県が前年同期比27%減(300t減)、富山県が増減なし(±0t)、石川県が増減なし(±0t)であった。

尚、令和6年度累計需要合計は、新潟県が29%減(900t減)、富山県が32%減(600t減)、石川県が75%増(300t増)となり、北陸3県全体で4,200t(1,200t減)で前年同期比の78%となった。

ヒューム管需要量の推移(10月～12月期)



ヒューム管出荷量の推移(10月～12月期)



(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	令和5年度 年計	令和6年度				
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	▲24	▲27	▲33	▲27	▲100	▲29
	3.8	0.8	0.6	0.8	0.0	2.2
富山県	33	▲40	▲44	0	▲100	▲32
	2.0	0.3	0.5	0.5	0.0	1.3
石川県	▲44	#DIV/0!	200	0	▲100	75
	0.5	0.1	0.3	0.3	0.0	0.7
3県計	▲15	▲25	▲26	▲16	▲100	▲22
	6.3	1.2	1.4	1.6	0.0	4.2

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員5社のうち5社

(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	令和5年度 年計	令和6年度				
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	▲25	▲38	0	▲18	▲100	▲21
	3.0	0.5	0.6	0.9	0.0	2.0
富山県	▲3	▲13	▲50	▲33	▲100	▲34
	3.2	0.7	0.6	0.6	0.0	1.9
2県計	▲15	▲25	▲33	▲25	▲100	▲28
	6.2	1.2	1.2	1.5	0.0	3.9

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員5社のうち5社
・石川県には、工場無し
・新潟県・富山県の在籍工場分を集計